

令和7年7月1日（火）～2日（水）

10名の参加で、東北高P連仙台大会への参加も兼ねて仙台市方面へ行ってきました。



### 【感想】 令和7年度PTA研修旅行の感想

PTA会長 高橋 綾

7月1日から2日にかけて、PTA研修旅行に参加しました。今回は会員7名と本校職員3名、計10名での研修となりました。初日はそれぞれの班で仙台へ移動し、櫻田山神社での参拝や仙台大観音の見学を行いました。日頃の喧騒から離れ、静かな環境の中で過ごすことで、心が落ち着き、清々しい気持ちになりました。昼食をはさみ、大崎八幡宮で行われていた厄除祈願大祭に参列。由緒ある神社の厳かな雰囲気の中で祈りを捧げる体験は、日常では味わえない貴重なものでした。

夜は仙台駅近くの会場にて懇親会が行われ、仙台名物の牛タンをはじめとする郷土料理を味わいながら、先生方や保護者の皆さんと親しく語り合うことができました。普段はなかなかじっくり話すことのないメンバー同士で、学校や家庭での思いを率直に語り合える場となり、大変有意義な時間となりました。

2日目の午前中には、会員7名と職員1名で仙台市内の名所を散策し、瑞鳳殿や青葉城址を訪れました。伊達政宗公の歴史にふれながら、自然豊かな景観を楽しみ、参加者同士の交流をさらに深めることができました。

その後、仙台サンプラザホールにて東北地区高等学校PTA連合会仙台大会に参加。仙台育英高校のチアリーディングパフォーマンスに元気をもらい、研究協議を通じて、他校の取り組みや地域との連携、コロナ禍を経て見直されたPTA活動の工夫などを知ることができ、大いに刺激を受けました。

昨今、PTAの必要性について議論されることも多くなっていますが、今回の研修を通してその意義や役割の大切さをあらためて実感しました。旅行を通じて保護者同士、また先生方との距離がぐっと近づいたように思います。個人的にも日常から離れて心からリフレッシュできる旅となりました。来年は卒業(しているはず…)のため参加できませんが、もし可能ならまた参加したいと思える、素晴らしい研修旅行でした。

【感想】 令和7年度 P T A 研修旅行に参加して

3年次保護者 及 川 美 保

高野先生の車で仙台まで向かうAチームは子供達が3年生の生徒という共通点があり、車内では、就職に対して親として不安なこと、疑問に思っていることなどを相談したり、体育祭の集団演技について熱く語ったりして、あっという間に目的地に着いていました。観光先は家族等ではなかなか選択しないようなディープな場所を散策することが出来ました。

新幹線チームのB班と合流後も仙台市内の観光を満喫してきました。観光の移動時は公共機関を利用していたのですが、岩手とは違い、複雑な操作の物もあり、大人の社会勉強の場ともなりこれから社会に飛び立つ子供を持つ、親にはとても貴重な経験の場となりました。

東北地区高等学校PTA 連合会仙台大会では、各学校のPTA活動の発表があり、時代性、地域性、生徒数などたくさん抱えながらも創意工夫を繰り返しながら取り組まれている姿勢を学びました。各学校の発表から感じたのは、先生、生徒、保護者が協力しながら、子供の成長を見届けながらも親としても成長できるとても貴重な時間になることでした。私も役員活動を経験して、共感出来ました。今回の学びを参考に北上翔南高校もPTA 役員活動が今以上活発になれる様にこれからも頑張っていきたいです。